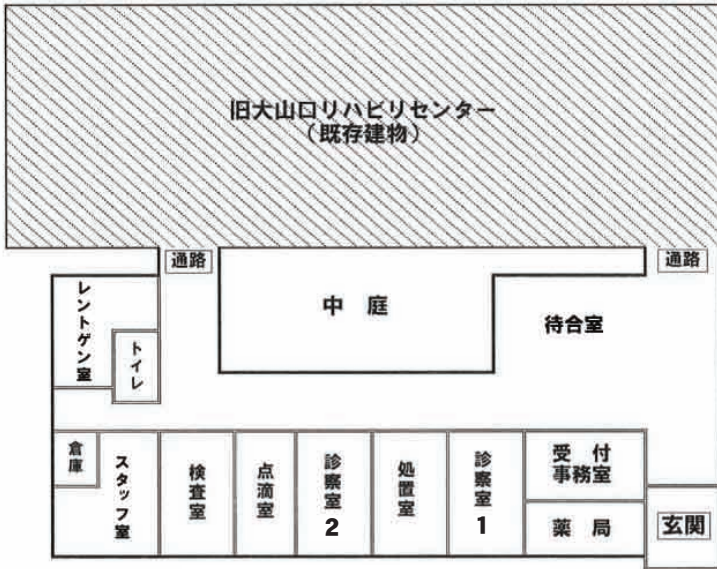


新しい大山口診療所として診療開始



新しい大山口診療所の平面図

大山口診療所と大山口リハビリセンターを統合し、4月1日から新しい『大山口国民健康保険大山口診療所』として診療を始めます。

診療にあたる医師は、これまでどおり久野宣年医師と久野淑枝医師です。診療科目など詳細は次のとおりです。

診療科目	内科・神経内科・消化器内科・心療内科・リハビリテーション科
診療日・診療時間	【月・水～金】 9時～12時、15時～18時 【火】 9時～12時、14時～17時 【第1・第3土曜日】 9時～12時
所在地	大山町末長 483 番地 3 電話 0859 - 53 - 3990 (代表・内科側直通) FAX 0859 - 53 - 3991 電話 0859 - 39 - 5333 (心療内科・リハ側直通)

Health

診療所 待合室

新「大山口診療所」と ホリスティック医療

大山口診療所 医師 久野宣年
久野淑枝
医師 久野淑枝

4月1日から、大山口診療所と大山口リハビリセンターが合併して、新「大山口診療所」として開院しました。場所は大山口リハビリセンターを増築する形で新「大山口診療所」となりますので現在のリハビリセンターと同じ場所になります。また、診療についてもこれまで通り内科、神経内科、消化器内科と心療内科、リハビリテーション科の診療を行います。医師、スタッフも変更ありません。

新診療所は在宅医療を中心としたさまざまな要望・ニーズに対応した診療を行います。現在対応した診療を行います。現在は大きい病院に長く入院することは、がんであろうと脳卒中であろうと出来なくなっています。リハビリ病院の次は、在宅で長い療養生活を続けなければならなくなっています。その時はかかりつけ医としての対応、

リハビリの継続、うつや不眠などの精神的な症状や認知症状への対応が必要になります。在宅医療は、一人ひとりの患者さんに対して身体的、精神的、社会的な対応も含め、全人的に関わってきます。

一人の間を身体的、精神的、社会的にも全体としてみている医療を、ホリスティック医療といえます。在宅医療は、ホリスティック医療でなくてはうまく機能していかないだろうと思います。病氣治療はもちろん、精神的なケアや、リハビリを行い、家族、介護スタッフと協力して、全体として安心して養生できることが大切です。患者さんとその家族が、体のことでも心のことでも、そのほか療養全体に関わる心配事は何でも相談出来る場が、診療所として提供できればよいと思います。ホリスティック医療とは、患者本人の自己治癒力を引き出す医療です。そこへ行くと落ち着いて、元気になるという癒しの場を大切に医療です。新「大山口診療所」はホリスティック医療をめざしています。